久喜市議会

平成３１年２月定例会

市長提出議案質疑通告

平成３１年３月５日（火）

質疑通告者一覧

【議案第　１　号　平成３０年度久喜市一般会計補正予算（第６号）について】
通告第　２　号　猪　股　和　雄　議員　……　１
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　……　１
通告第１１号　川　辺　美　信　議員　……　１

【議案第　７　号　平成３１年度久喜市一般会計予算について】
通告第　２　号　猪　股　和　雄　議員　……　３
通告第　３　号　斉　藤　広　子　議員　……　４
通告第　４　号　大　橋　きよみ　議員　……　５
通告第　５　号　長谷川　富士子　議員　……　５
通告第　６　号　丹　野　郁　夫　議員　……　５
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　……　５
通告第　８　号　成　田　ルミ子　議員　……　６
通告第　９　号　田　中　　勝　議員　……　６
通告第１０号　平　間　益　美　議員　……　７
通告第１１号　川　辺　美　信　議員　……　８
通告第１２号　岡　崎　克　巳　議員　……　８
通告第１３号　石　田　利　春　議員　……　１０
通告第１５号　杉　野　　修　議員　……　１０
通告第１６号　園　部　茂　雄　議員　……　１０
通告第１７号　春　山　千　明　議員　……　１１
通告第１８号　貴　志　信　智　議員　……　１１

【議案第　８　号　平成３１年度久喜市国民健康保険特別会計予算について】
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　……　１２

【議案第　９　号　平成３１年度久喜市介護保険特別会計予算について】
通告第　２　号　猪　股　和　雄　議員　……　１３
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　……　１３

【議案第　１５　号　久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例】
通告第　９　号　田　中　　勝　議員　……　１４

【議案第　１８　号　久喜市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例】
通告第１３号　石　田　利　春　議員　・・１５

【議案第　１９　号　久喜市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例】
通告第　２　号　猪　股　和　雄　議員　・・・１６
通告第　６　号　丹　野　郁　夫　議員　・・・１６

【議案第　２０　号　久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例】
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　・・・１７

【議案第　２６　号　久喜市立幼稚園保育料等徴収条例等の一部を改正する条例】
通告第　７　号　渡　辺　昌　代　議員　・・・１８

【議案第　３０　号　久喜市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例】
通告第　６　号　丹　野　郁　夫　議員　・・・１９

【議案第　３１　号　和解及び損害賠償の額の決定について】
通告第　１　号　田　村　栄　子　議員　・・・２０
通告第１１号　川　辺　美　信　議員　・・・２０
通告第１６号　園　部　茂　雄　議員　・・・２０
通告第１８号　貴　志　信　智　議員　・・・２０

【報告第　１　号　専決処分の報告について】
通告第１４号　川　内　鴻　輝　議員　・・・２２

議案第　１　号	平成３０年度久喜市一般会計補正予算（第６号）について

○　通告第２号　猪股　和雄　議員

（１）p30　地域公共交通実証実験運行料金補助金が、予算額の62%もの減額となった。理由をどう分析しているか。当初に見込んだ利用人数、回数と実態との乖離を説明されたい。

　実証実験の継続にあたって、運行方式を若干変更することになるが、それによって利用が大幅に増えると見込んでいるのか。

（２）p36　社会福祉協議会運営費補助金が2200万円の減額となった理由を説明されたい。

（３）p46　ごみ処理施設整備推進事業の委託料

ア　広域化する・しないの判断自体を先送りしたことによって、事業も先送りしたが、結論を出さないままに先送りするのは無責任である。見解を問う。

イ　市長は、結論を延期した３か月間で、課題をどう解決して結論を出していこうとしているのか。

ウ　市長は直ちに結論を出して、ごみ処理基本計画の策定事業を再開するべきであるが、市長の政治判断を問う。

（４）ｐ52　平沼和戸線整備事業が減額となった。久喜東停車場線が2021年度完了と説明されているが、東停車場線が接続する平沼和戸線の整備は、2021年度までに完了して、けやき通りに接続できるのか。平沼和戸線の整備見通しを明らかにされたい。

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）P、44 、4 衛生費、1 保健衛生費　7 健康づくり推進事業について

ア　久喜市で取り組む健康マイレージ事業の財源内訳の変更と考えるが、P、22.23 の雑入として「コバトン健康マイレージ後期高齢者助成分」と合わせて変更について説明されたい。

イ　内容として変更はあるのか伺う。現在は、県の制度を取り入れている現状であるが、市で行っている健康施策を加えて、独自のマイレージとして拡大すべきではないか。

（２）P、36、3 民生費、1 社会福祉費　2 訓練等給付費事業について

就労継続支援扶助費が 19,092,000 円のマイナスとなった。理由を伺う。また、今後の計画はどうしていくのか伺う。

○　通告第１１号　川辺　美信　議員

（１）予算書　P30～31　２　総務費　１　総務管理費　17　諸費

　地域公共交通実証実験事業が 13,898,000 円の減額補正ですが、理由は利用者の見込み減ということです。利用状況は月当たり 350～450 人、一日当たり 13～18 人、1 時間当たり 0.5 人～2.7 人となっています。1 日 5 台を 9 便運行している割に利用者が少ないと言えます。当初予算の利用者数は何人を見込み、実際の利用率を示して下さい。実証実験ということから、

利用者増への取り組みや利用範囲の変更は無いということなのかお伺いします。

議案第　７　号	平成３１年度久喜市一般会計予算について

○　通告第２号　猪股　和雄　議員

（１）（全体）障害者の市職員への雇用促進の方針を問う。

ア　障害者雇用率の現状（部局別、職員数・障害者実人数と率、換算人数と率、身体障害者、知的障害者、精神障害者の内訳）を明らかにされたい。

イ　法の趣旨に沿って、知的障害者、精神障害者の雇用を拡げていくことについて、新年度の取り組み方針と目標を明らかにされたい。

ウ　知的障害者および精神障害者雇用を拡大するために、どのように検討してきたか、課題は何か、具体的に示されたい。

（２）（全体）　障害者優先調達推進法に規定されている障害者福祉施設の提供する物品・役務の優先調達は、26年度以降減少傾向にあるが、30年度の実績（目標は物品125万、役務57万円）と31年度の計画を明らかにされたい。

従来方針の踏襲ではなく、いかに拡大していくかの取り組み方針を示されたい。

（３）（全体）イクボス宣言後、市の男性職員の育児休業、介護休暇の取得がどのように進んできているか。30年度の実績と新年度の見込み、取り組み方針を明らかにされたい。

（４）p98　東京理科大学跡地活用検討事業

活用検討事業の具体的な事業内容とスケジュールを明らかにされたい。

検討事業を踏まえて、活用計画を早急に策定する必要があるが、その見通しと、財政計画の考え方を明らかにされたい。

（５）p160　30年度事業で「障害者のための防災マニュアル」が策定されるが、障害者は一般の指定避難所に避難することを前提にしていて、福祉避難所への避難、受入、あるいは指定避難所から福祉避難所への移動をどのように進めるかなど、本文ではいっさい記載されていない。

しかし「マニュアル」にも書かれているように、トイレや人間関係、障害の特性によって一般の避難所で対応できないことがあり得る。障害者もいったんは指定避難所に行かせてから割り振るという機械的な対応では、事実上避難できない場合もある。

あらかじめ福祉避難所と協議して、１人１人に対応して福祉避難所での早期の受け入れも想定しておくべきである。一般の避難所に行けない、入れない障害者等の受け入れをあらかじめ検討しておかなければならないが、どう進めるか。

これまでの答弁で、福祉避難所として指定する施設等と協議する、防災訓練の中で施設と机上訓練などを進めると言われていて、10月に福祉避難所開設運営訓練を行った。早期の受け入れを行うことを表明しておいていただきたいが、いかがか。

（６）p152　要援護者見守り支援事業登録者約3700人について、「要援護者個別支援プラン」は策定されているか。新年度における策定と更新の取り組みを説明されたい。

また、その内、災害時に福祉避難所への避難が想定される該当者はどれくらいか。

（７）p184　児童福祉施設費

ア　昨年の質疑で、「待機児童ゼロ」の目標年度を31年度としていたが、４月に実現できるか。新規入園申込者数、新規入園決定者数と、もし待機児童がいるようであれば、取り下

げ者数、入所保留者数（年齢別）、厚労省の基準による待機児童数と実質的な待機児童数（自己都合など）を明らかにされたい。

イ　毎年年度途中で待機児童が増えていくが、今年度の見通しをどう把握しているか。

ウ　“待機”が発生するのであれば、その原因と、今後の取り組み方針を説明されたい。

（８）p196　放課後児童クラブ施設整備事業は、現在でも、久喜小、久喜東小、青毛小、江面小などは定員を大きく超えている。新年度に定員の1.5倍を超えると見込まれる学童クラブの見込みと、それらの学童の中期的な見通しを示されたい。

それらの学童クラブは、今後、施設を増設する計画を策定していかなければならないと考えるが、方針を問う。

（９）p254　道路維持管理事業など

道路破損や防犯灯故障など、インターネットを活用した市民通報システムの導入について、これまでの議会答弁を踏まえてどのように検討を進めるか。担当課や職員の監視だけでは対応し切れていないことはすでに明らかである。

(10) p264　久喜駅周辺まちづくり推進事業

市民に配布されたミニコミ紙で、「久喜駅東口　再開発へ」「東口駅前は都市計画を見直し」と広報された。「再開発」の記載は市民に“期待”の一方で、逆に誤解を与えかねないが、市の方針とこの報道の関係についての認識を問う。

(11) p342　財政調整基金積立事業

2018年度末残高は、昨年３月における年度末残高見込みは30億円程度としながら、実際には50億超となった（毎年度ほぼ同じ）。

今年度も 19 年度末残高見込みを 34 億としているが、実際の財政運営としては、繰越金や年度末の残余を積み立てることによって、どれくらいの残高となると見込んでいるか。(あるいは積立目標をどれくらいと見込んでいるか)。

○　通告第３号　斉藤　広子　議員

（１）ｐ３２６　「図書館管理運営事業」

ア　図書館の指定管理者制度の移行するスケジュールについて伺う。

イ　開館時間、開館日数の増加やサービスの変化など指定管理になり、何が変わるのか、市民や図書館利用者にどの様に周知するのか伺う。

（２）ｐ１７４「シルバー人材センター補助事業」

ア　シルバー人材センターは、高齢者の就業機会の確保や拡大を目指し、平成３１年２月６日より４月８日、全１０回の日程で「フレイル予防教室サポーター養成講座」の指導者（サポーター）の育成をしているが、その後の事業展開を伺う。

イ　フレイル予防は、心身機能の低下結果をチエックし予防対策に取り組み健康寿命を延ばすものだが、サポーター育成後、どの課と連携し市民へと拡大するのか伺う。

ウ　健康寿命の延伸を考えると健康医療課、保健センター及び介護福祉課が行う事業との連携が必要と思うが、実践編の予算は、どの様に考えて行くのか伺う。

○　通告第４号　大橋　きよみ　議員

（１）P176　市民後見推進事業について

ア　今後、ますます必要とする方が増える事業だと思うが、平成 30 年度どれくらいの方が利用されたのか。また、平成３１年度はどのように進めていくのか伺う。

イ　市民後見人の養成研修を実施しているが、どのように活用していくのか。
今後、どのようにマッチングしていくのか伺う。

（２）P274　空き家等対策計画策定事業について
事業内容を伺う。

○　通告第５号　長谷川　富士子　議員

（１）P288　10 款　教育費　11　スクール・サポート・スタッフ配置事業
予算概要の説明では、検証結果が有効であることが得られたとあった。
であるならば、配置校を小学校 3 校では少なすぎると思う。
もう少し増やして予算を計上するべきだったのではないか。
今後､久喜市全小･中学校に導入していくことをふまえて取り組むべきと思うがいかがか。
また、どういう基準で配置校を決めているのか伺う。

（２）P264　8 款　土木費　8　高柳地区開発整備推進事業
事業内容と今後のスケジュールを伺う。

（３）P264　8 款　土木費　12　用途地域検討事業
事業内容と今後のスケジュールを伺う。

○　通告第６号　丹野　郁夫　議員

（１）Ｐ84　２款　総務費　２　広報発行事業について。

ア　前年度比で約 600 万円の増となっているが、その内訳は。

イ　折込み作業及び配布作業の委託等についての検討はどのようにされたのか。

（２）Ｐ290　10 款　教育費　８　英語教育指導事業について。

ア　英検 3 級受験料補助金の交付対象者を中学 3 年生とした考え方について伺う。

イ　3 級相当の受験料の補助との説明があったが、「3 級相当」の考え方について伺う。

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）P246、7 商工費、1 商工費、3 観光費、8 アニメの聖地推進事業
合併１０周年記念事業として「らき☆すた」関連頒布品の作成と頒布、広め方の説明を求める。市民への周知はどう考えているのか。

（２）P330、10 教育費、5 社会教育費、6 文化財保護費、8 合併１０周年記念特別展事業
どのような内容か説明を求める。

（３）P224、4 衛生費、3 清掃費、1 清掃総務費、4 賑わい創出プロジェクト事業

業務委託とするようであるが、市の考え、方向性はどう反映させていくのか。市民との協働で事業を進める考えはないのか、伺う。

（４）P210、4 衛生費、1 保健衛生費、3 母子成人保健費、10 産後ケア事業

産後の母子を支えるために、宿泊型・通所型で心身のケアや育児指導・相談等を行うと説明があったが、すでにある子どものショートステイ事業、ホームヘルパー派遣事業との関連はどうなるのか。伺う。

（５）P184、3 民生費、2 児童福祉費、1 児童福祉総務費、廃子どもの未来応援事業

平成 30 年度行った、子どもの生活実態調査事業では、児童扶養手当を含む食事・学習・貧困など実態調査がされたと思うが、平成 31 年度はこれを生かした事業展開となると予想される。具体的にはどの事業に繋げるのか伺う。

Ｐ178 の家庭児童相談室運営事業の中で子どもの貧困対策、学習支援、虐待等の実態調査をもとにした対応策の推進は図れるのか伺う。

（６）Ｐ296、10 教育費、1 教育総務費、3 教育指導費、20 道徳教育の抜本的改善・充実に係る支援事業で伺う。

道徳の教科化が進んでいるが、道徳の指導、評価はかなり難しいと考える。生徒・児童の心の内をどう知り得るのか、心の内をどう評価するのか、一定の価値観を植え付ける事にならないか、教師の負担は大きいと考える。その中で、抜本的改善・充実とは何か伺う。

○　通告第８号　成田　ルミ子　議員

（１）3 款　民生費　P168　敬老事業

ア　事業の内容と対象となる人数を伺う。

イ　30 年度予算より 1988 千円増とした理由を伺う。

（２）４款　衛生費　Ｐ204　保健衛生費　産婦人科医療機関 開業支援事業について

ア　開業支援の内容について伺う。

イ　誘致に対する広報のスケジュールを伺う。

（３）7 款　商工費　Ｐ244　合併 10 周年記念プレミアム付商品券発行事業（145,000 千円）について

ア　事業の内容について伺う。

イ　購入方法の考え方とその周知について伺う。

○　通告第９号　田中　　勝　議員

（１）１００ﾍﾟｰｼﾞ　２款総務費　１項総務管理費　７目企画費　１０合併１０周年記念式典事業

予算額は、５３２万１千円である。この内、主な経費は、記念品が１２１万円と式典出演料が１５４万円の都合２７５万円（５１．７%）になっている。この内容をお示し願う。

（２）１１６ﾍﾟｰｼﾞ　２款総務費　１項総務管理費　１４目自治振興費　１１合併１０周年記念協働のまちづくり講演会事業

予算額は、５００万円である。この内の主な経費は、講演会業務委託料の４８１万１千円（９６．２%）である。事業概要は、協働のまちづくりを推進するための講演会実施に要する費用とある。講演会の内容を伺う。

（３）２４８ページ　７款商工費　１項商工費　３目観光費　１１合併１０周年記念イベント事業

予算額は、３７７万２千円である。この内の主な経費は、会場設営委託料９９万円と合併１０周年記念映像作製等業務委託料２２０万円の都合３１９万円（８４．６%）になっている。

会場はどこなのか…、記念映像は、どのようなものなのか…。お示し願う。

（４）３３０ページ　１０款教育費　５項社会教育費　６目文化財保護費　８合併１０周年記念特別展事業

予算額は、１６０万２千円である。この内の主な経費は、印刷製本費の、１０２万７千円（６４．１%）になっている。その内容と展示箇所についてお示し願う。

（５）１６８ページ　３款民生費　１項社会福祉費　７目高齢者福祉費　２敬老事業

予算額は、１，０５２万１千円である。この内、祝金に８７２万５千円　記念品に１５０万９千円が計上されている。この内、祝金と記念品の対象年齢及び年代別の人数と費用額をお示し願う。

（６）１６８ページ　３款民生費　１項社会福祉費　７目高齢者福祉費　３老人クラブ活動補助事業

予算額は、３７８万円で３１万４千円の減額である。要因は「会員数の減少」とのことである。合併後は、４千人以上の会員数も、今では３千人を割っている。この激減を、どのように分析しているのか…、お示し願う。

○　通告第１０号　平間　益美　議員

（１）P96　総務費　１項総務管理費　６目財産管理費　13 公共施設アセットマネジメント推進事業について

ア　個別施設計画策定支援業務委託料 1857 万９千円が計上されているが本庁、総合支所をはじめ、全ての市所有施設を対象にしているのか。

イ　基本的に統廃合を視野に入れた検討になるのか。

ウ　担当部署はどのような形で委託業者と関わって行くのか。

（２）P264　土木費　４項都市計画費　１目都市計画総務費　13 久喜駅周辺まちづくり推進事業

ア　スマートインターチェンジ建設がうたわれているが、建設に関わる申請の手続きはどのようになるのか。

イ　国・県・市の費用負担比率について伺う。

ウ　関係する近隣自治体との協議は必要としないのか伺う。

○　通告第１１号　川辺　美信　議員

（１）予算書 P120～121 ２総務費 ２総務管理費　11元気なバス需要創出モデル事業補助事業

埼玉県は「元気なバス需要創出モデル事業（予算額 25,692千円）高齢者等の公共交通への潜在需要を喚起するため、バス事業者に対して、増収につながる取組（例：路線バスの延伸・増便等）に係る費用を補助する。（補助率：取組に係る費用の１／２）」と規定しています。2019年度予算では、どの路線を対象としているのかお伺いします。

また、久喜駅東口～幸手駅西口路線を早急に実現させるためには、民間事業者任せにするのではなく、青葉団地循環や栗原循環路線を幸手駅西口まで延伸、増便する場合は、この事業対象となると考えますがいかがですか。

（２）予算書 P120～121 ２総務費 ２総務管理費　12鉄道輸送力増強促進事業

ア　今年の３月１６日に、ＪＲ東日本のダイヤ改正が予定されています。情報を見る限りにおいて、久喜駅の始発列車の繰り上げは見当たりません。ＪＲ宇都宮線整備促進連絡協議会において始発列車の繰り上げと最終列車の繰り下げが要望されましたが、ＪＲからの回答はどのようなものですか。

また、久喜市は要望実現に向けて今後どのように働きかけていくのかお伺いします。

イ　今後予定される、東武鉄道のダイヤ改正において、５時始発急行中央林間行の実現に向けて要望活動を強めるべきと考えますが、どのように検討されていますか。

（３）予算書　P258～259　８土木費　２道路橋りょう費　２市道久喜７号線道路改良事業

2019 年度の市道久喜７号線の整備計画を示して下さい。

（４）予算書　P258～259　８土木費　２道路橋りょう費　３市道久喜 211 号線道路改良事業

ア　市道久喜 211 号線の、市道久喜 1 号線から県道春日部久喜線の道路整備の現在の進捗状況を伺います。また、2019 年度予算において同区間の整備は終了になりますか。

イ　市道久喜 211 号線は抜け道として通過車両が多いことから、市道久喜 1 号線から県道春日部久喜線において歩道の整備は当然ですが、歩道の幅員は何メートルで、自転車道の設置はどのように行う予定なのかお伺いします。

（５）予算書 P264～265 ８土木費　４都市計画費　12用途地域検討事業

2019年度予算において、どの地区の用途をどのように変更する計画なのかお示し下さい。

また、東鷲宮地区は代表質問でも取り上げましたが、現在でも公共インフラに大きな影響を与えています。どのような開発を想定しているのかお伺いします。

○　通告第１２号　岡崎　克巳　議員

2 項　環境衛生費

（１）Ｐ２２２～　環境保全費

ア　浄化槽管理指導事業の大幅な増額予算の理由。

イ　浄化槽の管理指導の徹底をどう取り組むのか。

ウ　生活排水処理施設整備構想はどのような視点で改定するのか。

１項　農業費

（２）Ｐ２３０～　農業総務費

ア　農地転用・農振除外の許可に大幅な遅れがみられるが、31 年度の対応を伺う。

イ　許可の遅れは、市長が掲げるまちづくりに影響があると思うが、如何か。

１項　商工費

（３）Ｐ２４４～　中小企業・小規模企業振興会議運営事業

ア　30 年度比、減額理由と会議予定回数。

イ　消極的姿勢だが、会議増となる事案は何と考えるか。

ウ　31 年度新規事業は振興会議と商工会との連携を図るべきだがいかがか。

２項　道路橋りょう費

（４）Ｐ２５６～　道路維持費・道路新設改良費

ア　市街化区域内の砂利道の整備箇所数について伺う。

イ　新設と道路ストック舗装修繕の箇所数。

ウ　市道久喜２１１号線の供用開始までのスケジュール。

エ　道路照明灯のＬＥＤ 化のスケジュール。

４項　都市計画費

（５）Ｐ２６２～　都市計画総務費

ア　都市計画税を充当した事業名。

イ　液状化対策推進の事業内容と工事スケジュール。

ウ　用途地域等の検討はどのような視点で取り組むか。

エ　久喜駅東口周辺まちづくり検討業務のスケジュールとその後の取り組み。

（６）Ｐ２６８～街路事業費

ア　東停車場線と平沼和戸線の事業内容。

イ　鷲宮産業団地青毛線の完成目標を明確にすべきだがいかがか。

（７）Ｐ２７０～　公園費

ア　総合運動公園施設改修でテニスコート２面の改修をなぜ行わないのか。

イ　（仮称）菖蒲運動公園の整備はスポーツ団体からの要望にこたえた整備か。

５項　住宅費

（８）Ｐ２７４　住宅管理費

ア　空家等対策計画策定まで、どのような取り組みを行うのか伺う。

３項　中学校費

（９）Ｐ３０６　学校管理費

ア　太東中学校体育館屋根改修工事内容とスケジュール。

イ　照明はＬＥＤ化となるか。

（10）Ｐ３08　学校建設費

ア　太東中学校の大規模改造工事設計とはどこまでの工事になるか。

イ　複数年の工事が想定されるのか。

○　通告第１３号　石田　利春　議員

（１）P116　地域提案型活動事業　（新規）

市民が主役となり、魅力あふれる地域づくりを進めるため、市民団体が自ら企画、提案、実施する　地域提案型の活動への支援　新規事業として位置づけられています。

この事業は、市民団体が「魅力あふれる地域づくり」を進めてもらうよう、新規の団体が生まれるよう、後押しするものか。既に事業を展開している事業に対して支援するものなのか伺う。

○　通告第１５号　杉野　　修　議員

（１）３８Ｐ－３９Ｐ　１４款国庫支出金　委託金　総務管理費委託金　自衛官募集事務委託金
１３２Ｐ－１３３Ｐ　２款総務費　戸籍住民基本台帳費

市は、自衛隊法などにもとづいて市民の住基情報の提供をしているが、以下の点で３１年度の事業予定を伺う。

ア　自衛隊は、住基情報を隊員募集などに使うとしているので、対象は比較的若い年齢層と思われるが、何才から何才までか。

イ　情報の提供は、「閲覧に供する」「紙媒体による」「データによる」のいずれの方法か。

ウ　市が提供した情報の個人から「利用停止請求」が提出された場合、どのようにするのか。

（２）２３２Ｐ－２３５Ｐ　６款農林水産業費　農業振興費　農地費

各分野での減額が見られ、新年度予算ながら基幹産業である農業への支援策になっていないのではないか。積極的な予算としなかった理由を伺う。

（３）３２６Ｐ－３２９Ｐ　１０款教育費　社会教育費　図書館費

新年度から図書館管理運営事業に指定管理者制度を導入することになるが、以下の点で伺う。

ア　ＴＲＣの各館ごとの配置人数、司書人数。また、社員のうち正社員、パート・アルバイトの内訳。最低時給金額。

イ　現在の市職員との「引き継ぎ作業」はどのような計画か。

（４）３３６Ｐ－３３７Ｐ　１０款教育費　保健体育費　鷲宮運動広場公衆トイレ改修事業

本予算では設計業務の委託料が計上されているが、年度内に設置しないのか。利用者、市民にとって待ち望まれたトイレの設置である。予定するスケジュールを伺う。

○　通告第１６号　園部　茂雄　議員

（１）総務費　P116　地域提案型活動事業について、従前の地域会議に代わるものかと思うが、補助金交付要綱を伺う。

（２）商工費　P244　インキュベーション検討事業　公共施設や空き店舗を使い起業家の育成 やインキュベーションビジネスについて検討するとなっており、調査、制度設計となると思うが、事業をスタートする際に補正予算を計上して取り組むのか伺う。

（３）土木費　Ｐ264　高柳地区開発整備推進事業について、高柳地区の開発事業のタイムスケジュールを伺う。

また、用途地域検討事業について、用途地域見直しする地域とタイムスケジュールを伺う。

○　通告第１７号　春山　千明　議員

（１）環境衛生総務費　コウノトリ餌場実証実験事業について

ア　実証実験に至るまでの経緯を伺います。

イ　実証実験の内容を伺います。

ウ　他自治体（協議会参加市）での取り組みと成果を伺います。

エ　この実験での結果は１年で完結するものなのか、数年実験を続けてその結果をもって次につなげていくものなのか伺います。

（２）児童福祉施設費

ア　市立保育園保育士不足解消にどのように対応した予算編成になったのか伺う。

イ　待機児童対策の一つは保育士の拡充だと考えます。保育士を増やさなければ待機児童問題は解消されない現状だと思います。新年度の予算措置で待機児童解消に向けた予算措置はどのようにされたのか伺います。

○　通告第１８号　貴志　信智　議員

（１）予算書 98 ページ、東京理科大学跡地活用検討事業について伺う。

「市場調査」とあるが、レストランや専門学校など具体的に特定企業や学校法人とコンタクトまで取る調査なのか、それともマーケティング調査のように、あくまで一般論として市場の可能性を判断する調査なのか。

（２）予算全体に関わることとして伺う。リース契約・長期継続契約など、将来に渡って支払額が確定しているもののうち、債務負担行為を組んでいないものを全庁的に把握しているか。把握していれば金額を伺う。

（３）平成 30 年度より業績評価結果を勤勉手当に反映制度が運用されている。平成 31 年度も継続するものと思うが、制度に変更点はあるか。昨年度の審議においては「能力・行動評価結果の昇給」への反映につきましては引き続き検討を行う」旨の答弁があった、平成 31 年度に向けてどのような検討がなされたのか伺う。

（４）平成 31 年度の予算を踏まえて、経常収支比率、実質公債費比率、将来負担比率をどのように推計するか。行政改革大綱で目標を定めているものはその達成の見込みを伺う。

議案第８号	平成３１年度久喜市国民健康保険特別会計予算について

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）Ｐ365　3国民健康保険事業費納付金4,024,136,000円は昨年に比べてだいぶ減額となった。理由を伺う。

（２）一般会計のその他繰り入れは、昨年 131,186,000 円と減らし、今年は 70,435,000 円と減らしている。実質ペナルティ額のみとなり、その他繰り入れは事実上 0 になってしまった。県の運営方針だからではすまされない事である。久喜市の市民に対する姿勢が問われることになる。加入者の負担を軽くしようという立場に立つべきではないのか。

（３）平成 31 年度のガン検診の取り組みを伺う。

（４）特定保健指導事業の重症化予防業務委託料はこれまでなかなか進んで取り組めなくて、毎年決算では不用額がでて、予算を削減してきていた。今年は新たな事業となるようであるが、どのような内容になるのか伺う。

議案第９号	平成３１年度久喜市介護保険特別会計予算について

○　通告第２号　猪股　和雄　議員

（１）第８期介護保険事業計画の策定スケジュールを明らかにされたい。

（２）介護保険事業計画策定にあたって、介護保険料負担区分の細分化を図るべきである。低所得階層の普通徴収で滞納が多く発生し、その結果、給付制限に至るケースが多い。現在の10段階から、階層区分を増やし、高所得階層で保険料を大幅に引き上げるとともに、低所得階層で現在の0.45よりも引き下げることが可能である。

　階層区分の細分化と、低所得階層の保険料引き下げについて検討対象とし、積極的に対応していただきたいが、見解を問う。

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）調整交付金はどれくらいとして予算計上したのか伺う。

（２）介護認定審査会委員 70 名、介護認定調査委員 23 名は昨年度と変わらないが、介護認定数が増加する中現状でやりきれるのか伺う。

（３）施設介護サービス給付で伺う。特別養護老人ホームの待機は現在何人か。昨年度からの改善はどれくらい進んだのか伺う。

（４）介護支援専門員が 3 名となっているが、地域包括支援センター事に１名ずつの配置が必要ではないか。認知症の初期支援や相談支援等様々に活躍していただきたいと考えるが。

（５）地域支援事業費の介護予防・生活支援サービス事業の予算額が 40,075,000 円も削減されている。昨年は 1 億 1800 万円も増額の予算を立てたところである。減額の理由を伺う。また、要支援 1・2 の方のホームヘルプサービスとデイサービスの事業者単価は、これまでと同じで給付費の時と同様に変わらないと捉えていいか伺う。

議案第１５号	久喜市の特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

○　通告第９号　田中　　勝　議員

（１）提案理由に農業委員会による農地利用の最適化に向けた積極活動を推進するため、農業委員会会長等の報酬体系を基本給と能率給の体系に改めたいので、この案を提出する、とある。

基本給　月額４７，０００円 能率給　基本給のほか、活動及び成果の実績に応じ予算の範囲内で市長が定める額
基本給　月額３９，０００円 能率給　基本給のほか、活動及び成果の実績に応じ予算の範囲内で市長が定める額
基本給　月額３５，０００円 能率給　基本給のほか、活動及び成果の実績に応じ予算の範囲内で市長が定める額
基本給　月額２０，０００円 能率給　基本給のほか、活動及び成果の実績に応じ予算の範囲内で市長が定める額

以上について伺う。

報酬体系を基本給と能率給とし、それぞれの基本給のほか、「活動及び成果の実績に応じ予算の範囲内で市長が定める額」とある。それは、どのくらいの面積を纏（まと）めると成果の実績になるのか？　とても分かり難いので、具体的に分かり易くお示し願う。

議案第１８号	久喜市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例

○　通告第１３号　石田　利春　議員

この条例改正は、消費税 10%への増税に伴う条例改正である。消費税増税に対する市の考え方をうかがう。

（１）市長は、市政運営並びに予算編成の基本方針で、消費税増税 10%が実施されることによる経済への影響が懸念されると述べています。この条例改正に伴う市民への負担増は、避けられない。　増税に伴う市民生活への影響をどのように考えているか伺う。

議案第１９号	久喜市放課後児童クラブ条例の一部を改正する条例

○　通告第２号　猪股　和雄　議員

（１）桜田小学校学童クラブの定員を160人に拡大する改正だが、これまで、新たに建設する施設の定員が160人と説明されてきた。すでに2018年度には180人が入所しており、19年度は200人を大きく超えると見込まれている。新施設以外に、従来の校舎内の施設も利用する計画だが、それも含めた定員とするべきではないか。

（２）東鷲宮学童クラブも新年度にはコミセン内の施設を利用せざるを得ない。今後中期的にも入所児童が減る見込みはないのだから、定員を実態に合わせて設定するべきではないか。

○　通告第６号　丹野　郁夫　議員

（１）桜田小学校の新たな学童施設は定員 160 名としたが応募者は 200 名を超えており、既存の空き教室の一部を引き続き使用すると聞いている。学童応募児童数は何名か。

（２）新学童施設と既存教室を使用する割り振りはどのようにするのか。

（３）学童支援員の増加はあるのか。

（４）学童児童数の今後の推移をどのように捉えているか。

議案第２０号	久喜市国民健康保険税条例の一部を改正する条例

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）国民健康保険の賦課限度額を見直す今回の改正は、事実上の値上げとなる。対象となる世帯、影響額を伺う。また、今回の改正は赤字解消のためか伺う。

（２）最高税額「85 万円」となる世帯の所得額はいくらか。4 人家族（両親・子ども 2 人）のモデルケースで伺う。そのモデルケースの場合の方が、協会けんぽや組合健保に加入しているとしたらその保険料はいくらとなるのか伺う。

（３）国保税が高いことは担当課としても十分認識しているのではないかと考える。その中で、市民の暮らしを考えるならば、こうした負担増ともなる改正は問題ではないか。どう考えているのか伺う。

（４）第 21 条の 2 第 2 項では、申告がマイナンバーで簡単に提出できるようになると説明があったが、具体的にどうなるのか伺う。

議案第２６号	久喜市立幼稚園保育料等徴収条例等の一部を改正する条例

○　通告第７号　渡辺　昌代　議員

（１）子ども・子育て支援法施行令の一部改正が内閣府から示されたのは、平成 30 年 2 月 15 日であり、施行期日は、平成 30 年 4 月 1 日とされていたが、今回の時期の改正となった理由を伺う。

（２）附則の 2 の（１）（２）の該当者数・金額を含めて説明を求める。

（３）昨年の「子ども子育て支援法施行令の一部改正」では、事業主拠出金の率の引き上げ、さらに、拠出金の施設型給付費等支給費用への充当割合の改正もされていると思うが、これらについての久喜市への影響はないのか伺う。

議案第３０号	久喜市職員の勤務時間、休日及び休暇に関する条例の一部を改正する条例

○　通告第６号　丹野　郁夫　議員

（１）勤務時間に上限が設けられたが、違反した場合の罰則はあるのか。

（２）勤務時間を正確に把握するために、タイムカードの導入等の仕組みを考えているか。

（３）再任用職員についてはどのように考えているか。

議案第３１号	和解及び損害賠償の額の決定について

○　通告第１号　田村　栄子　議員

（１）建物付き土地の売却に際し不動産鑑定士が算定した価格は誰が認定したか。

（２）平成 30 年 9 月 28 日に相手方との間で売買契約を締結し、「現状有姿で売却」とあるが、現状有姿であれば後から出てきた不都合な点の異議申し立てをされるのは如何か。契約書ではどうなっているのか、伺う。

（３）平成 30 年 9 月 28 日締結した売買契約書並びに和解及び損害賠償時の契約書を公開し、市民の納得が得られるようにすべきであるが、如何か。

（４）公共施設の売買処分をする場合の方針、ルール作りを検討すべきであり、土地の埋設物の把握を含め今後の鑑定にも生かすべきであるが、市の考えを伺う。

○　通告第１１号　川辺　美信　議員

（１）議案に示された損害賠償金額の積算根拠は、久喜市として十分納得できる額なのかお伺いします。

（２）アスベストを含むスレートの処分には、処分できる業者が限られておりいまだに現地で保管されています。和解については、アスベストの最終処分を確認してから、これまで処分にかかった実費分を補償すべきですがいかがですか。

（３）売買契約を解消して、これまで処分にかかった全額を補償して、市が土地を買い戻すという選択肢もあると考えますがいかがですか。

○　通告第１６号　園部　茂雄　議員

（１）11 月 1 日に職員立ち会いにより、試掘をした際に更に大量のコンクリート片・アスファルト片及び木片などが確認され、相手方により土壌分析を行なって、異常がないことを確認した後、アスベストが新たに発見されることは、土壌分析等に瑕疵がなかったのか?

　全体の流れからすると先方に処理を委託する進め方、一連の協議、決定を市長として責任の所在をどの様に考えるのか伺う。

○　通告第１８号　貴志　信智　議員

（１）埋設物の発見により、久喜市は実質的に赤字で市有地を手放す事になった。本件に関しては事態が発覚した経緯に課題はあるとしても、未利用地を民間に売却し、活用すること自体が否定されるべきではない。深谷市ではマイナス 795 万円で市有地を売却するなど、長期的な視点に基づき積極的に未利用地を手放す事例もある。今回の件が、将来的に久喜市にどの

ような財政的影響を及ぼすのか伺う。

今後、当該土地が宅地として活用された場合、得られるであろう固定資産税をはじめ、税収をどのように推測するか伺う。また、その税収をもって、本件に伴って久喜市が一旦被る赤字を何年で精算できると推測するか伺う。

報告第１号	専決処分の報告について

○　通告第１４号　川内　鴻輝　議員

（１）報告第１号から報告第１０号まで損害賠償額が一人一人異なる理由について。
（２）損害賠償に至るまでの経緯は。
（３）今回の事故を受け、その後の安全対策は。